

# 初期臨床研修医募集案内

TOKYO KYOSAI HOSPITAL



国家公務員共済組合連合会

東京共済病院

# 病院概要

## ◇病床数・医師数・実績

一般病床：350床 常勤医師数：93名  
一日平均外来患者数：483.1名 年間入院患者数：6191名  
年間救急車搬送台数：3847台

## ◇診療科

循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝・糖尿病内科、脳神経内科、  
膠原病・リウマチ内科、血液内科、精神科、緩和ケア内科、消化器・一般外科、整形外科、  
脳神経外科、呼吸器外科、乳腺外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、  
婦人科、麻酔科、救急科、放射線科

## ◇学会認定施設状況

日本内科学会教育関連施設	日本消化器病学会認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医指導施設	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本呼吸器学会関連施設	日本老年医学会認定施設
日本腎臓学会研修施設	日本糖尿病学会認定教育施設
日本内分泌学会認定施設	日本透析医学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本高血圧学会認定施設
日本神経学会准教育施設	日本リウマチ学会教育施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本血液学会研修教育施設
日本大腸肛門病学会関連施設	日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本がん治療認定機構認定研修施設	日本乳癌学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院	日本脳神経外科学会専門医訓練施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本呼吸器外科学会認定修練施設	日本形成外科学会認定教育関連施設
日本泌尿器学会専門医教育施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本アレルギー学会専門医教育研修施設
日本皮膚科学会認定研修施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本病理学会研修登録施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本乳房マンコングラスティックサージャリー学会エキスパンダー、インプラント実施施設	他

# 当院での初期研修を考えている皆さんへ

## ◇臨床研修医への挨拶

病院長 七里眞義

当院は26診療科と4診療センターの診療部門を有し、急性期病床、集中治療室(HCU)、地域包括ケア病床、緩和ケア病床にて構成される350床の地域医療支援病院です。東京都がん診療連携協力病院の認定と日本医療機能評価機構の承認を受けており、診断・治療に難渋する方々が多数紹介受診されるため、質の高い医療を提供し続けられるよう努力を重ねてきました。長年にわたり東京科学大学、東京大学の協力型臨床研修病院として初期研修医を迎え入れてきましたが、2025年度は基幹型研修制度による初期研修医を2名採用し計9名が臨床研修を行っています。研修指導医の出身医局は多岐にわたり、大学からの派遣医師を含む医局出身者で構成される診療科が多いため、大学病院やその教育関連施設の診療システムも取り入れて運用されています。正常圧水頭症センターのように圧倒的な診療実績を誇る分野を含め、卓越した診療技術・知識を習得できる診療科が多く、これまで多くの新型コロナウイルス感染症診療にも対応してきました。東京都内の大多数の公的病院や感染症指定医療機関では新型コロナウイルス感染症病床を大幅に確保しなければならなくなり、一般の救急・急性期医療が制限される時期が続きましたが、臨床研修医の皆さんのキャリアを考慮すると重篤な疾患や救急医療に加えて各専門領域の先端的医療にも携わる経験が必要であることは言うまでもありません。そのため、当院では初期研修医が日当直医とともに救急診療に従事する比重を高めながら専門診療領域も幅広く経験し、2年次終了時までには充実した臨床能力を獲得できるようプログラムを組み換えています。近年の診療報酬システムは当院のような地域医療支援病院に対して重症度の高い専門的医療、手術や緊急処置を要する重篤な病態、急性期入院・救急医療などに特化することを強く求めており、大規模病院ほど慢性疾患を減らして入院期間を短縮化しなければならなくなりました。しかし、当院のような地域の拠点病院は急性期医療や外科的治療にさらに重点を移しながらも、複雑な合併症を有する慢性疾患や稀少疾患、疾患2次予防など、診療所や小規模病院では対応が困難な専門医療も放棄できません。このような現実の高い専門性をもつ当院の研修指導医にとってはむしろ実力を発揮しやすいという点に診療科相互の連携も密接になりやすいため、臨床研修環境としては充実したものになる可能性があります。専門医をめざす際には、慢性疾患も多く学ぶことも必須の要件となりますが、単一の疾患にしか罹患していない患者さんに巡り会うことはむしろ稀になりつつあり、多彩な合併症について併診の中で学べることも大きな研修効果につながります。当院では急性期医療への比重を高めながらも、慢性疾患の履修もおろそかにしない研修体制へと転換する方針です。

当院は中目黒という人気エリアの緑豊かで閑静な環境にあります。歴史ある地であるが故に地域医療の重要な拠点となっています。大学病院などの初期研修では経験しにくい実地臨床研修を支援しようとする姿勢の研修指導医が多いですが、真剣白刃の臨床現場で充実した研修成果を得るには上級医に対して自ら求める積極性が必須で受身の姿勢の方には当院の研修は不向きです。新しいプログラムで救急医療、重症疾患、専門医療の研修に求められる要件は従来よりはるかに厳しく感じられるものとなっています。当院での初期臨床研修終了後は各診療科の出身大学医局へ入局の道が開かれており、それぞれの医局の正確な情報が得られるメリットもあります。高い臨床研修成果を求める積極的な方々の応募をお待ちしております。

# 初期臨床研修プログラムについて

## ◇理念

医師として必要な人格、社会性を育てながら、基本的な診察能力を身につけて、医療・医学における将来の基礎を築く。

## ◇特色

❖大都市部のコミュニティにおける地域密着型の二次救急、病棟・外来を通じて医師としての基礎を身につけることができる。当院には地域ケア病棟が併設されているため、急性期から慢性期への一貫した診療を経験できる。

❖脳神経センター、呼吸器センター、消化器センター、リウマチ膠原病センターがあり、プライマリケアのみならず、専門診療の連携実践を学ぶことができる。特に悪性腫瘍の診療に力をいれている。

❖中規模市中病院であるため、より患者や家族に近い視点に立つことができる。我が国においては高齢化が進行することが予測されている。専門や立場にもよるが、今後医師としてその現実に直面することが多くあるだろう。医師生活の出発点で、単なる疾患名や統計数字に還元され得ない患者の現実を肌で感じることは大事な経験である。

❖当院は2004年の新医師臨床研修制度の必修化以来、東京大学、東京科学大学の協力型臨床研修病院であり、臨床教育の蓄積がある。医師の経歴や出身医局も多岐にわたり、各診療科や上級医との垣根も低い。大学病院の診療も経験できる。

## ◇当院での初期研修について

プログラム責任者  
呼吸器内科部長 野口智加

医師臨床研修制度の見直しに伴い、2020年から当院では大幅なプログラムの変更をしました。必修では当院の主要内科を8週ずつ3科、一般・消化器外科を8週と腰を据えて研修できるようにしました。救急は1年次と2年次に4週のブロック研修し、1年次に4週麻酔科研修をします。精神科・小児科・産婦人科の必修研修は2年次に東京科学大学病院にて行います。また、一般外来研修は並行研修と地域研修で行います。病棟、外来、救急外来での2年間の研修を経てプライマリケアの基本的な診察能力をつけて、チーム医療を実践することを目標にしています。またエコーの研修、画像診断など個別の要望があれば調整もしています。診療現場に積極的に参加し、当院での研修をキャリア形成に役立てて下さい。

## ★研修ローテーション例★

1年次	外科	救急	麻酔	内科①	内科②	選択①	選択②	選択③
	/				一般外来並行研修	/		
	8週	4週	4週	8週	8週	4週	4週	8週
2年次	救急	精神	小児	産婦	地域医療	内科③	選択④	
	/				一般外来並行研修			
	4週	4週	4週	4週	4週	8週	20週	

※1年次：内科は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科から2科選択（各科8週）、救急科4週、麻酔科4週、外科は消化器・一般外科8週を必修研修。

※2年次：内科上記5科から1年次に選択しなかった1科を選択し、8週。

※2年間を通じて、院外研修の時期を除き、当直を行う。

※選択研修：重複を避けて診療科を研修。原則4週または8週。眼科は選択不可。耳鼻咽喉科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、緩和ケア内科は2年次以降選択可。

# 修了要件

- ① 臨床研修の到達(研修医評価表)で「研修修了時で期待されるレベル」の評価を受け、かつPG-EPOCに入力済みであること
  - ② 経験すべき症候(29症候)、疾病・病態(26疾病・病態)について指導医からの承認を受けていること。
  - ③ PG-EPOCの基本的臨床手技について自己評価と他者評価がすべて入力されていること
  - ④ CPCにて臨床側からのプレゼンテーションを経験していること
  - ⑤ 必修分野の履修を完了していること
  - ⑥ 4週間(20日)以上の一般外来研修の実施記録があること
  - ⑦ 90日以上のお休みがないこと
  - ⑧ 原則として院内の研修医発表会および共済学会で発表すること
  - ⑨ 緩和ケア研修会(プライマリケア講義)に参加すること
  - ⑩ 虐待についての研修を受講すること
  - ⑪ 感染対策に関する院内必修研修にすべて参加すること
  - ⑫ 医療安全に関する院内必修研修にすべて参加し、医療安全委員会に年2回以上参加すること
  - ⑬ 社会復帰支援について経験すること
  - ⑭ ワクチン接種業務に関わること
  - ⑮ 2年間で退院サマリーを8編委員会に提出すること (必修科で8編推奨)
  - ⑯ コメディカルからの評価を1年次、2年次に半期に1回ずつ受けること
- 著しく研修態度が悪い場合は上記を満たしていても修了と認めないことがある。

## プログラム修了時の認定

臨床研修管理委員会にて研修修了の可否について協議する。修了が承認されれば、管理者である病院長に報告し、病院長より各研修医に臨床研修修了証を交付する。修了基準を満たさない等の場合、臨床研修管理委員会は修了判定において修了を認めない。その際、当院で引き続き研修を受ける場合は未修了、当院での研修を中断する場合は中断とする。

# 募集要項・研修医待遇

## ◇募集要項

募集定員	2名
募集方法	公募
マッチング利用	あり
募集及び選考の時期	募集時期:6月～7月 選考時期:8月
応募必要書類	履歴書、卒業(見込み)証明書、成績証明書
選考方法	書類審査、面接、筆記試験、適性検査
研修プログラムに関する問い合わせ先	総務課
資料請求先	総務課

## ◇待遇

身分	常勤職員(研修医)
給与	1年次 300,000円/月(賞与支給あり) 2年次 300,000円/月(賞与支給あり) その他 時間外、当直手当あり
勤務時間	基本的な勤務時間:8:30～17:15(時間外あり)
休暇	有給休暇あり、夏季休暇あり、年末年始休暇あり、忌引きあり
当直	約3回/月
住宅	宿舎なし 家賃手当あり
社会保険・労働保険	あり 職員に準じる
健康管理	健康診断:1年次 1回 2年次 2回
医師賠償責任保険	病院において加入
外部研修活動	学会、研修会等への参加:可
アルバイト	研修中のアルバイトは認めない
その他	個人用デスクあり